

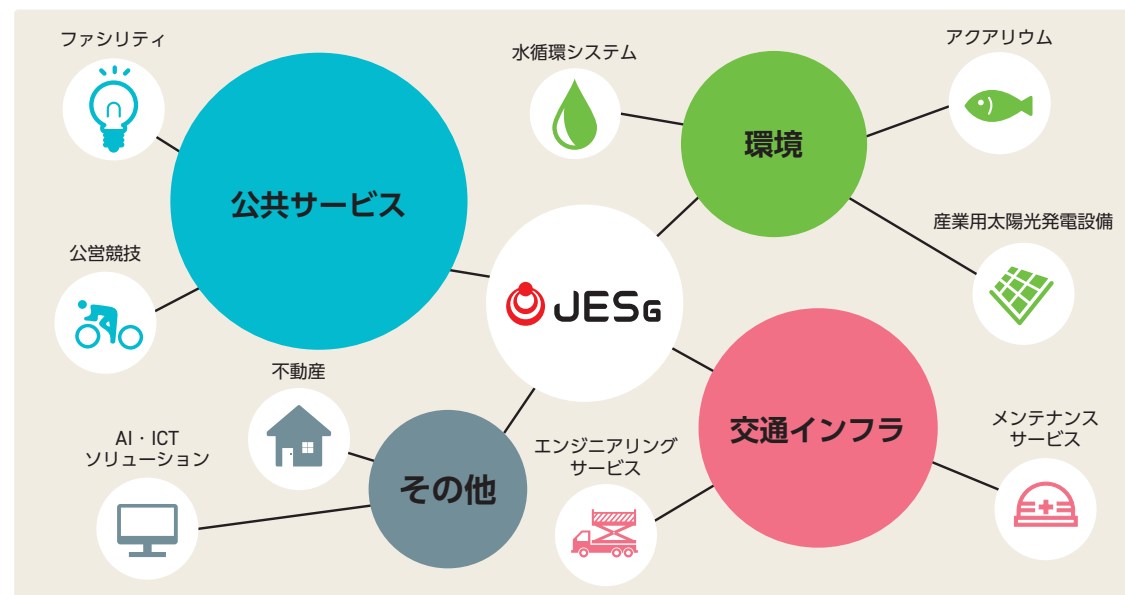
## 成長ドライバー 群戦略

### 各事業間での連携により複数サービスの同時提供を実現

「JESg Vision 2030」を実現するために、重要な施策の一つとして掲げているのが「群戦略の推進(コングロマリットプレミアム)」です。公共性の高さを活かした3事業が連携することにより、単一セグメントでは対応できない案件に対しても他セグメントのサービスを提供することで対応可能としています。

#### 群戦略とは？

群戦略は、当社グループの3事業の得意とするビジネス領域を活かし、一顧客に対して複数のサービスを提供することにより収益を拡大していく戦略です。当社の持つ3事業においては、共通して活用できる資格や技術が複数存在しており、各事業間で連携しながら複数のサービスを提供できる点が強みとなっています。



#### 群戦略推進による効果

##### 1 機会損失の防止による収益拡大

現在当社の軸となっている公共サービス事業、環境事業、交通インフラ事業においては、一顧客から複数案件を獲得するなどクロスセルの効果により、機会損失を防いでいます。当社グループの展開する3事業はゼロからは参入しづらい公共性の高い事業となっており、なおかつ各事業間の情報交換において案件を紹介しあうことで、一顧客から複数の案件を獲得しやすい事業環境となっています。

##### 2 M&A戦略との相乗効果によりさらなる顧客基盤の強化に

M&Aを重ねることで3事業を中心に成長を続けてきましたが、グループ会社が元々築いていた顧客との関係性はそのまま引き続いており、群戦略との相乗効果によりさらなる顧客基盤の強化につながっています。当社は愛知県一宮市を基盤としていますが、愛知県にこだわらず、東京都を拠点とする公共サービス事業の日本ベンダーネット(株)、石川県を拠点とする交通インフラ事業の(株)テッククリエイトなど、様々なエリアに基盤を置いている会社をグループ化しているため、顧客数、顧客エリアともに順調に拡大しています。

#### 群戦略を推進するための体制

##### 1 エンジニアエコシステムの構築による対応力の向上

当社グループでは、各事業間で活躍する人材の能力を最大限に発揮するため、エンジニアエコシステムの構築を進めています。各事業に所属する人材の持つ技術や資格を可視化し、必要な事業に必要な人材を充てることにより様々な案件に柔軟に対応できる体制を整えています。そのため、従業員に向けては積極的な資格取得を推進し、ベテランから若手への技術承継、女性役職者の登用、外国人の採用等も順次進めています。特に若手社員に対しては、事業をまたいだ配属ローテーションを実施し、様々な現場経験を積むことにより適性を判断する仕組みを整えています。

##### 2 難易度の高い資格保有者の増員

当社グループの事業を進めるにあたり、優秀なエンジニアの増員は不可欠となります。そのため、中期経営目標として難易度に応じた資格取得数を設定しました。取得の難易度によって当社内でレベルを3カテゴリーに分け、難易度の高いレベル3の資格に関しては、2022年度時点の229個から2025年度には51個増加の280個を目標としています。こちらはレベル1の14個増加、レベル2の25個増加に比べると高い目標となりますが、レベル3の資格が増えることが当社グループの成長性に大きく関わるため、人材の教育、採用の両方において注力していきます。

#### PICK UP

#### 群戦略の事例

当社グループ事業間で共通するエンジニアエコシステムの情報共有により群戦略を推進。グループ会社の各社より、資格・経験などを保有した最適な人材の配置転換を行いました。

#### 日本エコシステム × 日本ベンダーネット 交通インフラ事業

**課題** 高速道路の維持および保守におけるエンジニアリング&メンテナンス人材不足

**効果** 高速道路のエンジニアリング人材確保

#### 日本エコシステム × 菱電機工業 × 村川設備工業

**課題** ファシリティ領域におけるエンジニア人材不足

**効果** 3社で強固なシナジーが実現し大型案件を受注